

# 可能表現 ラ抜きとプロトタイプ 4

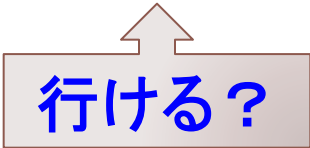
---

サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所  
南 雅彦

# し不足言葉

- 気持ちよく汗をかいて体の中からデトックスできることで、日本で女性に人気の岩盤浴。お風呂を見つけるのさえ難しいアメリカでは**行かれる**訳もない.....。

U.S. Frontline August 5, 2010 p. 51 『美人帝国』



行ける？

	一段動詞・母音動詞 Vowel Verb・RU-Verb	五段動詞・子音動詞 Consonant Verb・U-Verb
辞書形	食べる tabe-ru	飲む nom-u
ます形	食べます tabe-mas-u	飲みます nom-imas-u
否定形	食べない tabe-nai	飲まない nom-anai
受身形	食べられる tabe-rare-ru	飲まれる nom-are-ru
使役形	食べさせる tabe-sase-ru	飲ませる nom-ase-ru
可能形（肯定）	食べられる tabe-rare-ru 保守的可能形	飲める nom-e-ru
	食べれる tabe- re-ru 革新的可能形・類推変化（ラ抜き）	飲めれる nom-e-re-ru 革新的可能形・類推変化（レ足す）
可能形（否定）	食べられない tabe-rare-nai 保守的可能形	飲めない nom-e-nai
	食べれない tabe- re-nai 革新的可能形・類推変化（ラ抜き）	飲めれない nom-e-re-nai 革新的可能形・類推変化（レ足す）

- 可能の意味を表す場合、「飲む」は五段動詞は「飲める」「飲めない」という形が正しい。これからの類推で、五段動詞ではなく一段動詞の「食べる」から作られたのが「食べれる」「食べれない」という「**ラ抜き言葉**」である。
- 「食べれる」から、本来は正しい五段動詞の可能形である「飲める」「飲めない」に「れ」を加えて「飲め**れ**る」「飲め**れ**ない」にしてしまった過剰修正 (hyper-correction) ?

	一段動詞・母音動詞	五段動詞・子音動詞
可能形 (肯定)	tabe-sase-ru 食べられる tabe-rare-ru 保守的可能形	nom-ase-ru 飲める nom-e-ru
	食べれる tabe- <b>re-ru</b> 革新的可能形・類推変化 (ラ抜き)	飲めれる nom-e- <b>re-ru</b> 革新的可能形・類推変化 (レ足す)
可能形 (否定)	食べられない tabe-rare-nai 保守的可能形	飲めない nom-e-nai
	食べれない tabe- <b>re-nai</b> 革新的可能形・類推変化 (ラ抜き)	飲めれない nom-e- <b>re-nai</b> 革新的可能形・類推変化 (レ足す)

# レ足す言葉

- 「読める」「書ける」など、可能の意味をもつ五段活用の動詞に、「読めれる」「書けれる」と、可能を表す助動詞をわざわざつける。
  - 大正末年以前に生まれた人からの聞き取りに基づき国立国語研究所がまとめた『方言文法全国地図』では、長野、山梨、静岡、高知、岡山、大分で使用されていた古い方言。
  - **レ足す言葉**は、「日本語の乱れ」として批判されがちな若者言葉の一例だが、ここ数年のうちに特定の地方で生まれた表現が全国に広まったケース(**新方言?**)。
- 「いずれの変化も、言葉を単純にしたい、意味をはっきり表現したい、という流れとして説明できる。『ラ抜き』や『レ足す』を使うと、**動詞の活用をいくつも覚えなくて良くなる**。善しあしは別にして、少なくとも『サ入れ』と『レ足す』は、『ラ抜き』と並んで、間違いだとはいずれ感じられなくなるだろう」(井上史雄)

# レ足す言葉

- 「読める」「書ける」など、可能の意味をもつ五段活用の動詞に、「読めれる」「書けれる」と、可能を表す助動詞をわざわざつける。
  - 大正末年以前に生まれた人からの聞き取りに基づき国立国語研究所がまとめた『方言文法全国地図』では、長野、山梨、静岡、富山、石川、福井、大分で使用されている。
  - レ足す言葉は、「日」が「日」になるが、ここ数年のうちに、**新方言?**。

- ① 若い世代に向けて使用者が多くなりつつあり、
- ② 使用者自身も方言扱いしている
- ③ 共通語(標準語)では使わない言い方  
(新方言:井上)

例:「本日は都合により休ませていただきます」ではなく、わざわざ「さ」を入れて長くした「本日は都合により休まさせていただきます」

たい、意味をはっきり表現する。『ラ抜き』や『レ足す』を使

て、動詞の活用をより正確に表現して良くなる。善しあしは別に、少なくとも『サ入れ』と『レ足す』は、『ラ抜き』と並んで、間違いだとはいずれ感じられなくなるだろう」(井上史雄)

# し足す言葉

- 飲めれる
  - 飲めれない
  - 関西弁: 飲まれへん
- 読めれる
  - 読めれない
  - 関西弁: 読まれへん
- 書けれる
  - 書けれない
  - 関西弁: 書かれへん
- 行けれる
  - 行けれない
  - 関西弁: 行かれへん

岡田監督「みんなが役割果たさんと、この時期、ラッキーでは勝てれへんて。あと3試合やんか。どう転ぼうが」(日刊スポーツ 2011年10月13日)

nom-e-re-ru

nom-e-re-nai

nom-a-re-hen

yom-e-re-ru

yom-e-re-nai

yom-a-re-hen

kak-e-re-ru

kak-e-re-nai

kak-a-re-hen

ik-e-re-ru

ik-e-re-nai

ik-a-re-hen

しかし、関西弁では「飲まれる」「読まれる」という肯定形の可能表現はない？

# 可能表現再考

昔は「ラ」ありだった！

「走られない」は昔は標準として正しかった。  
大阪では、「走られへん」と「ラ」が入る。  
五段動詞に「ラ」が入った名残。

- 「もう走れません」
- 「もう走られませんか」
- 日本語学習者
  - 「この情報で、NASAはもっと安全な宇宙計画が作られます。」
  - 「イチローはアメリカ人に比べて体が小さいのに、MLBに入られた。」
  - 「(人が紙飛行機に)乗られる？」
  - 「11時まで帰られませんでした。」
- 「ラ抜き言葉」ではなくて、「ラ入れ言葉」
- しかし「レ足す言葉」ではない。
- では、「レ足す言葉」はどこから来たのか？
- 異分析とは、多くの場合、誤解に基づいて本来の語源や語の構成とは異なる解釈を行なうことを意味する。



# 可能表現再考

- 子どもの言語を習得する過程を考えてみる
  - 活用
    - 子供は聞いたままを覚えるだけではなく、文法構造を覚え、類推から活用させようとする。(例: 形容詞の活用(否定形の「～くない」)を形容動詞に用いて「好き**くない**」と言う。)
    - 親が活用を教えるわけではない。
  - 「知ってる？」という問いに対して、「知って**ない**」と答える。
    - 「知ってる」を、否定形に活用。
  - 「○○できる」と言う時に、「○○する」という動詞を、可能形に活用させ「○○す**れる**」と言う。
    - 「**れる**」をつけるという可能形のプロトタイプ規則をサ行変格活用にまで敷衍。

# 可能表現再考

- プロトタイプと異分析

上一段動詞  
見られる  
mi-rare-ru

下一段動詞  
食べられる  
tabe-rare-ru

ラ行五段動詞  
走れる  
hashir-e-ru

ラ行五段動詞  
帰れる  
kaer-e-ru

ラ行五段動詞  
取れる  
tor-e-ru

カ行五段動詞  
書ける  
kak-e-ru

マ行五段動詞  
飲める  
nom-e-ru

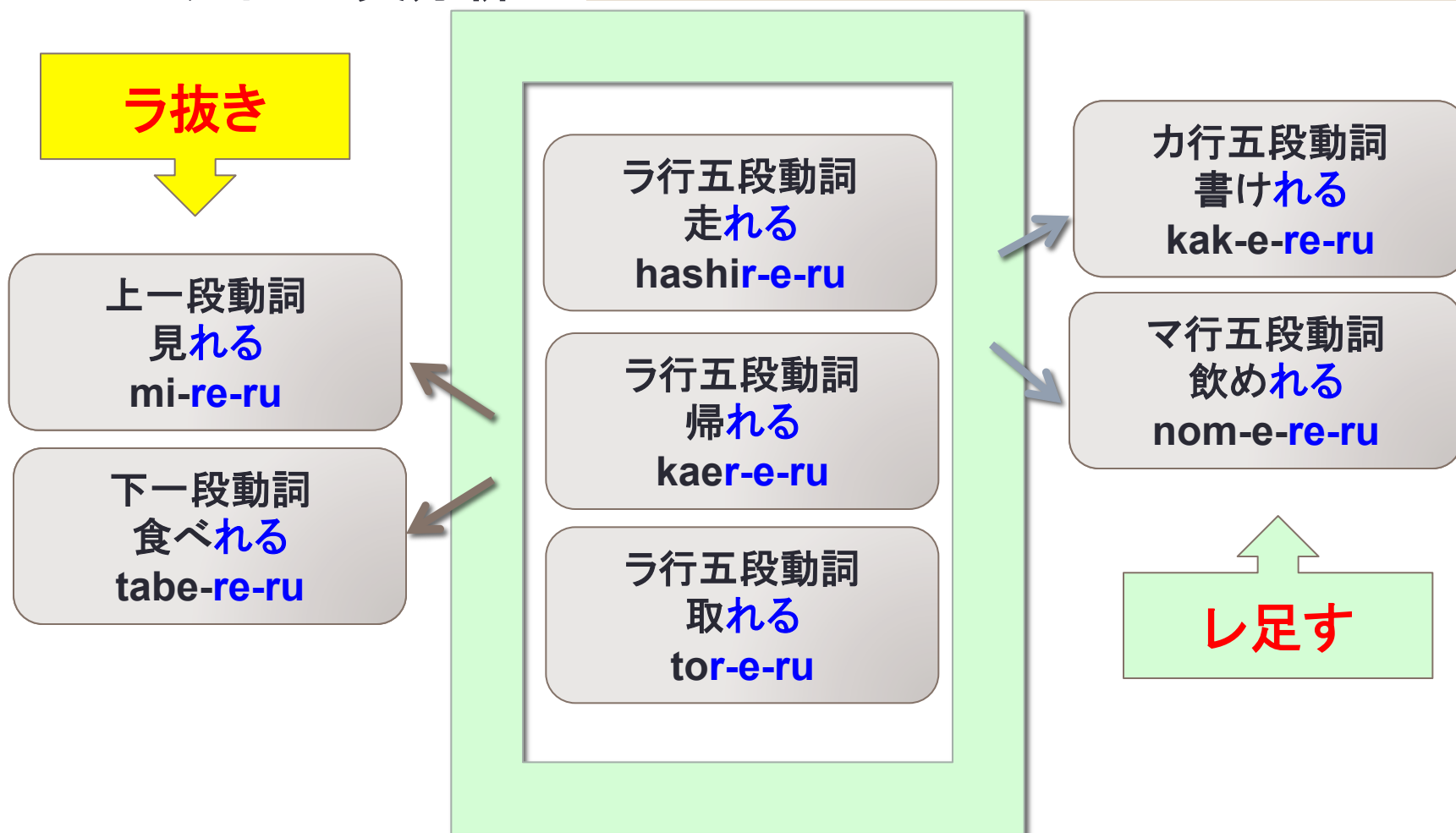
# 可能表現再考

## ・プロトタイプと異分析

### 類推 (analogy)

例: 「チガくない・チガかった」

本来は「ちがう(違う)」という動詞(意味的には形容詞)があって、その語幹「ちが」に形容詞の語尾が付いた形(「近くない・近かった」)



# 可能表現再考

## ・プロトタイプと異分析

上一段動詞  
見られない  
mi-rare-nai

下一段動詞  
食べられない  
tabe-rare-nai

ラ行五段動詞  
走れない  
hashir-e-nai

ラ行五段動詞  
帰れない  
kaer-e-nai

ラ行五段動詞  
取れない  
tor-e-nai

カ行五段動詞  
書けない  
kak-e-nai

マ行五段動詞  
飲めない  
nom-e-nai

# 可能表現再考

## ・プロトタイプと異分析

プロトタイプ理論をラ抜きに適用すると、プロトタイプとなるラ行五段動詞の可能形が、一段動詞ではラ抜きを引き起こし、他の行の五段動詞ではレ足すを引き起こす。

